

(「繰越計算書等の作成要領」別紙)

災害復旧・復興事業(経費)に係る事故繰越事務

## 「参考資料集」

## (目次)

### 事故繰越要因「類型別・定型文章例」

1 自然災害	1
2 建設資材	1
3 作業員	2
4 入札不調(補助事業の場合)	2
5 地元住民等調整	3
6 地中埋設物	3
7 地権者等	3
8 請負業者の倒産	4
9 他事業等との関係	4
10 事業実施(工事現場など)にあたり発生した障害	5
11 用地の確保	5
12 行方不明者の搜索	6
13 建築制限	6

## ～ 事故繰越しの主な類型と理由の例 ～

### <理由記載にあたってのポイント>

- ① 当初予定したスケジュール(行程)を記載!
- ② どのような事象(事故要因)が発生し、どのような状況になったかを記載!
- ③ 事象発生後に、どのような対応(処置)をとったかを記載!

### (例示)

●●施設の復旧工事について、

① 本工事の着手を●月●日に予定していたが、

② ●年●月●日の台風●号により、本工事の資材搬入路である市道●号線が大規模に被災し、通行不能となった。この復旧に●ヶ月程度の時間を要する見込みであり、本工事の着手を●月に延期せざるを得なくなった。

③ 本工事箇所は当該道路の他に迂回路はないため、当該道路が開通するまでの約●ヶ月間、工事を中断することとなり、

年度内の完了が困難となった。

## 1 自然災害

① ●●施設の復旧工事について、本工事の着手を●月●日に予定していたが、●年●月●日の台風●号により、本工事の資材搬入路である市道●号線が大規模に被災し、通行不能となった。この復旧に●ヶ月程度の時間を要する見込みであり、本工事の着手を●月に延期せざるを得なくなった。本工事箇所は当該道路の他に迂回路はないため、当該道路が開通するまでの約●ヶ月間、工事を中断することとなり、年度内の完了が困難となった。

② ●●地区●●工事の工事着手後の●年●月●～●日に発生した風浪により再度被災し、●●の工程から●●の工程まで、約●割程度やり直しせざるを得ない手戻り工事が発生したことから、約●ヶ月の工期延長を余儀なくされ、年度内の完了が困難な状況となった。

③ ●●地区●●工事の工事着手後の●年●月●～●日における記録的な豪雪により、本地区において積雪●cmを記録(例年は●cm程度)。除雪作業に相当な日数を要したことから本工事箇所への交通経路が復旧するのに約●ヶ月の期間を要し、その結果、工事の中断を余儀なくされ、年度内の完了が困難な状況となった。

## 2 建設資材

① ●●地区●●工事の工事着手後の●月●日に請負業者から、●●●に必要な資材のうち、生コン(必要量●m<sup>3</sup>のうち●m<sup>3</sup>)の入手が困難であるとの申し出があった。これにより、●月～●月までの●ヶ月間、工事を中断せざるを得ない状況となり、年度内の完了が困難となった。請負業者は、別の入手方法を検討するも、予定数量の確保はできなかった。



<現状、契約はできていないが年度内に契約の見通しがある場合>

- ② ●月●日に交付決定を受けた後、補助事業者による入札を行ったところ、●年●月に発生した●●地震からの復旧・復興事業に係る事業の集中による資材価格の高騰などの影響により価格が折り合わず、●回入札不調となった(●回目の入札日(●月●日))。今後、●●(規模、工期、資材・労務単価など)の見直しを行い年度内に契約を行う見込みとなっている。

## 5 地元住民等調整

- ① ●●地区●●工事において、●月●日に●●について利用者との合意を得た上で事業を開始したところであったが、●月●日に利用者側から●●を理由に●●の変更を求められた。これにより利用者との再度調整を行った結果、●●の見直しを図ることとなり、約●ヶ月の遅れが生じ、年度内の完了が困難となった。

- ② ●●処理事業において、当初受入を了解していた●●自治体から、●月●日に●●に対する懸念等から住民調整に日数を要している旨報告があった。この調整のため約●ヶ月程度の遅れが生じており、年度内の完了が困難となった。

## 6 地中埋設物

- ① ●●地区●●工事の掘削工事を開始したところ、●月●日に当初想定していなかった●●(コンクリートガラ、配管など)の地中障害物が多数発見された。このため、障害物の撤去作業の追加、作業効率の低下に伴い、●ヶ月の遅延が生じ、年度内の完了が困難となった。

- ② ●●地区●●工事の工事着手後、●月●日に埋蔵文化財の試掘調査を実施したところ予想以上の文化財の存在が確認された。このため、埋蔵文化財の詳細調査を行うことに伴い、工事の中断を余儀なくされた。更に、工事の集中などにより、埋蔵文化財発掘調査員の不足も加わり、●月～●月までの●ヶ月(通常●ヶ月程度)の期間を要することになったため、年度内の完了が困難となった。

## 7 地権者等

- ① ●●地区●●工事において、工事着手後に地権者の施工同意、用地境界確定のため立ち会いを行うべく、地権者との連絡をとろうとしたところ、地権者は死亡しており、相続人の所在も不明であることが●月●日に判明した。この対応に●ヶ月程度を要することから、年度内の完了が困難となった。

- ② ●●地区●●工事の事業着手後、用地買収にとりかかったが、地主の一人が死亡したことにより相続が行われており、その相続人の一人が●月●日に売却反対の意志を表明した。この交渉に●ヶ月を要したことから、年度内の完了が困難となった。

## 8 請負業者の倒産

- ① ●月●日に交付決定を受けた後、●●地区の●●工事に着手したが、●月●日に受注業者が自己破産申請したため、工事が中断した。このため、工事出来高の把握、契約解除、再発注作業に約●ヶ月が見込まれ、工事再開が●年●月となり、残工事に●ヶ月必要なことから年度内の完了が困難となった。

## 9 他事業等との関係

- ① ●●地区●●工事を●月●日に着工したものの、●月●日になって▲▲工事との調整が必要となることが判明した。●●に係る●●工事部分は、▲▲工事が完了しないと本工事に着手できない部分があるが、▲▲工事は●●の影響により遅れを生じており、●年●月上旬から●月下旬の約●ヶ月間工事を中断せざるを得なかったため、年度内の完了が困難となった。

- ② ●●地区●●工事は、土地利用計画の調整後●年●月までに地元住民調整を終了させ、復旧工事に着手する予定であったが、●年●月に●●復興整備計画に基づく土地利用計画において、関係機関との協議難航により調整が遅れていることが判明した。土地利用計画において工事範囲が確定することから、工事着手ができず、約●ヶ月程度の遅れが生じており、年度内の完了が困難となった。なお、土地利用計画は●月頃に整う予定。

- ③ ●月に●●地区●●工事の着手を予定していたところ、●●地区内に防災集団移転にともなう▲▲工事が計画され、●●の規模変更を余儀なくされたことから、この●●の変更により●ヶ月程度の遅れが生じ、年度内の完了が困難となった。

- ④ ●●地区●●工事の工事着手後において、●●漁業共同組合から中止されていた漁業の再開に伴い、漁業期間における工事中断の依頼があり、●月～●月までの●ヶ月間工事を中断せざるを得ず、年度内の完了が困難となった。

- ⑤ ●●地区●●工事の工事着手後の●月●日に道路拡張について市より通告があった。このため、建設予定地の一部を●●する必要が生じたことから、建設計画を見直した上で執行することとなり、このため約●ヶ月の遅れが生じ、年度内の完了が困難となった。

- ⑥ ●●地区●●工事について、●月●日に建築許可を受け工事着手に向け準備をすすめていた。この地区は防潮堤工事の計画も平行して進められており、●月●日に計画の決定により本件工事に●●の影響が生じることとなり、年度内の完了が困難となった。

⑦ ●●地区●●復旧工事について、復旧事業計画を策定し工事着手に向け準備をすすめていたところ、●月●日に▲▲事業の事業主体から共同化事業についての申し入れがあった。共同化事業とした場合、復旧経費の節減が図られるメリットも多く、事業計画自体の変更の検討を行ったこと、また共同化事業自体が●月頃に事業化されることから、年度内の完了が困難となった。

⑧ 市の破壊家屋等解体撤去事業に●月●日に申し込みを行い、●月頃に建物を撤去した後に同じ場所に建設する予定であった。しかしながら、●月●日に市から、予想を超える応募件数が殺到している状況のため、建物取壊事業が遅延しており、●月頃になるとの連絡があった。建物取り壊しまでは工事に着手できないことから、約●ヶ月の遅れが生じ、年度内の完了が困難となった。

## 10 事業実施(工事現場など)にあたり発生した障害

① ●●地区●●工事の工事着手後において、●月●日に工事の障害となる地盤強度不足が判明した。このことにより当初予定されていなかった●●工事を追加で行うこととなり、約●ヶ月間の工期延長を余儀なくされ、年度内の完了が困難となった。なお、事前の調査では軟弱地盤の問題は発見されていなかった。

② ●●事業の●●の作業工程において、当初予定していた●●(塩分濃度など)より●倍程度であると●月●日事業者側から申し出があった。このため●●(除塩など)作業を行いつつ作業を進めていく方法に変更したことから、約●ヶ月の遅れが生じたことにより、年度内の完了が困難となった。

## 11 用地の確保

① ●●地区●●工事については、用地買収と工事を平行実施することにより工事促進を図っていたところであるが、工事着手後において、●●の理由から工事用地の引き渡しが遅れることが●年●月に判明し、●月～●月までの●ヶ月間工事を中断せざるを得ず、年度内の完了が困難となった。

② ●●地区●●工事の工事着手後において、●月●日に●●より当初予定していた資材置き場が使用できなくなる旨連絡があった。この地区内は同時に行われている復旧・復興事業もあり、資材置き場の用地使用計画の変更を余儀なくされ、一時事業を中断することとなった。これにより約●ヶ月程度の遅れが生じ、年度内の完了が困難となった。

③ ●●との用地補償契約(●月●日付け)については、契約工期内での移転が完了し速やかに登記手続きに入ったものの、法務局における登記業務が年度当初であれば通常●日程度であったものが、●ヶ月程度の期間を要す状況となっており、登記業務が年度内に完了しないことが●月●日に判明し、用地補償契約の工期延長せざるを得ず、年度内引き渡しが困難となった。

- ④ ●●処理事業において、当初受入を表明していた●●自治体から、●月●日に●●に対する懸念等から住民調整に日数を要している旨報告があり、当該地での建設を断念した。この代替地の確保に時間を要すこととなり、約●ヶ月程度の遅れが生じたため、年度内の完了が困難となった。なお、この土地の確保は●年●月を予定しているところ。

## 12 行方不明者の搜索

- ① ●●改修工事に着手したが、●●の段階にいたった●月●日に当該区域の行方不明者搜索の協力依頼があった。この協議、搜索協力のため●月～●月までの●ヶ月間工事を中断したことにより、年度内の完了が困難となった。

## 13 建築制限

- ① 区画整理の時期、場所に関する正確な情報もない中で、建設工事着手に向けて準備をしていたところ、●月●日に被災市街地復興推進地域の対象となり建築制限がかかってしまった。このため建築制限指定解除(●年●月)まで工事着工できず、年度内の完了が困難となった。

- ② 区画整理の時期、場所に関する正確な情報もない中で、建設工事着手に向けて準備をしていたところ、●月●日に土地区画整理事業の対象となり建築制限がかかってしまった。この建築制限指定解除は●年●月までであったため、代替地を探すこととし、工事に着手することとしたが、代替地の確保に時間を要したことから、年度内の完了が困難となった。